

# いのちの言の葉2010

富山県教育委員会 平成 22 年度いのちの教育総合支援事業

## 「いのちの授業」

富山市立奥田北小学校 4 学年児童  
平成 22 年 10 月 21 日実施

## 【いのちの先生】

山谷 眞己先生  
・中島こどもクリニック 医院長

### 【授業の概要】

- 1 「いのちの先生」の紹介
- 2 「いのちの先生」の話
  - (1) いのちはなくなってしまう
  - (2) いのちはつづいている
  - (3) いのちは他のいのちをもらって生きている
  - (4) 「ごんぎつね」の絵本の紹介

事前にアンケートを取り、児童の実態を把握された上で、児童に対して大変分かりやすく話を進めていただいた。児童に対して「自他のいのち」「いのちの大切さ」について考える機会を与えていただく内容であった。最後に「ごんぎつね」の絵本を紹介され、互いを理解し合うことの大切さを教えていただいた。

ママへ

私は、いのちの大切さについて学びました。食べ物に感謝することやいのちはつながっていることを学びました。いのちの先生のお話を聞いて、食べ物からいのちをいただいているのだな、両親とつながって、今の私がいるのだなと思いました。最後になりましたが、私を産んでくれてありがとう。



〇〇へ

いのちの大切さを学べてよかったね。いのちはつながっていて、本当に大切だよ。いろいろなことに感謝して生きていってほしいと思います。

それから、ママのもとに生まれてきてくれてこちらこそありがとう。いつもあなたのそばで応援しています。あなたの味方だからね。



イラスト「心のノート」より

ママへ

私はいのちの授業を受けて、いろいろなことを学んだよ。それは「いのちはどんどんつながっている」ということです。また、食事をするということは、いのちをもらっているということなどいっぱい教えてもらいました。ママ、今までありがとう。これからもよろしく願いします。

イラスト「心のノート」より



〇〇へ

いつも当たり前のようにあると思っているいのちについて「どんどんつながっている」や「食べることはいのちをもらっている」ととても大切なことを感じてくれてママはうれしく思いました。いのちを大事にするということは、元気に遊ぶことでもあるよね。これからもよろしく。 ママより

イラスト「心のノート」より



お母さんへ

ぼくはいのちの授業を受けて、大切なことをいろいろと学びました。「いのちは大切」ということは知っていますが、なぜ大切なのか今日の授業でよくわかりました。いのちの授業で、「いのちはつながっている」ということを教わり、「ああ、ぼくもつながっているんだな」と思いました。

イラスト「心のノート」より



〇〇君へ

いのちの授業があった日に、お母さんにたくさん「ありがとう」と言ってくれたね。〇〇君、お母さんこそいつもたくさんありがとう。私は〇〇君がお母さんの子どもに生まれてきてくれて本当に幸せ者です。優しい心をいつまでももち続けていってくれますように。あなたのお母さんより

イラスト「心のノート」より

